

## 中国同济大学、復旦大学とセミナーを開催しました



青山貴子学長をはじめ、国際共同研究センター学術研究交流団は中国・上海の同济大学を3月9日に訪問し、同大学の政治・国際関係学院と「新時代における日中戦略的互惠関係の構築と展望」と題するセミナーを開催しました。

セミナーの冒頭で、同济大学常務副学長呂培明教授は、学術研究交流団に歓迎の意を表し、今回の学術研究セミナーの開催を通じて学部レベルだけではなく、大学レベルの両大学の交流関係を促進するよう期待を寄せました。

青山学長は冒頭挨拶の中で、山梨学院大学の国際化と国際共同研究センターの立ち上げの経緯を紹介し、日中両国の研究者が学術研究交流を深め、具体的な相互連携へと繋げたいと述べました。



セミナーにおいて、本学からは上條醇法学部特任教授、国際共同研究センター研究員の劉曙麗経営学部准教授、熊達雲法学部特任教授、同済大学政治・国際関係学院からは副院長の呉新葉教授、夏立平教授、李博英准教授が報告を行いました。



青山学長はセミナーの閉会挨拶において、将来、日中両国が二国間、地域及びグローバルなどの各レベルでの互惠協力を全面的に発展させるべきだと述べ、日中戦略的互惠関係の構築は両国の国民にとって意義深いものであり、発展させていくべきだと強調しました。

呂培明常務副学長は、新しい歴史的な状況のもと、中日両国は経済協力の新たなチャンスをつかみ、二国間及び多国間枠組みの下で協力できる点を掘り下げ、実務的な協力を深化させ、Win-Win の関係及び共同利益を拡大したいと総括しました。



同日午後、本学学術研究交流団一行は復旦大学を訪問し、同大学の日本研究センターと「山梨学院大学/復旦大学学術交流会」と題する学術研究交流会が行われました。青山学長と同センター長の胡令遠教

授による開幕の挨拶が行われ、引き続いて本学の上條法学部特任教授が「日本における住環境の変遷とマンション法改正」、復旦大学日本研究センターの袁堂軍教授が「日中経済関係の展望：価値連鎖と価値観との兼ね合いを図る」と題する基調講演を行いました。



それに続いて、二つのセッションに分けて報告会が行われました。第一セッションでは、国際共同研究センターの熊研究員及び同センター高蘭研究員と復旦大学日本研究センターの王広涛准教授、第二セッションでは、国際共同研究センター劉研究員、復旦大学日本研究

センターの賀平教授、同姜若予助理研究員による報告が行われました。報告後、熱のこもった活発な討論が行われ、充実した学術研究交流ができたと参加者一同から高い評価を受けました。



開会の挨拶で、青山学長は復旦大学から招聘していただいたことに感謝の意を表しました。今回、復旦大学日本研究センターと本学国際共同研究センターとの学術研究交流会を開催できたことは、両大学ないし両国の国民の相互理解の促進に大いなる意義を有していると述べ、会議の成功を祝福しました。復旦大学日本研究センターの胡令遠センター長は、青山学長をはじめ国際共同研究センターの中国学術研究交流団の一行の来訪に対し歓迎の意を表し、両研究機関の学術研究交流を通じ、両大学の交流促進に大変有意義な成果をもたらしましたと述べられました。最後に国際共同研究センター熊達雲センター長と復旦大学日本研究センター賀平副センター長は総括を行い、このような学術研究交流は両大学の学術研究の進歩にとって有益だけでなく、両国関係の更なる発展にも微力ながら寄与するもので、これからも続けていくことを双方で確認しました。

文責 熊達雲